

ID ; SL400176
チーム名 ; JSR (中学生の社会的責任) ...ネイキッド
学校名 ; 東筑紫学園照曜館中学校
学年 ; 3年
チームリーダー ; 小野村 樹 (おのむら たつき)
チームメンバー名 ; 縄田 将充 (なわた まさみつ)
矢野 恵祐 (やの けいすけ)
橋本 遼 (はしもと りょう)
指導教官名 ; 坂本 知恵 (さかもと ちえ)
レポートタイトル ; 「ネイキッド」な情報を頼りに、
CSR (企業の社会的責任) の条件を満たす
「本当に」いい企業たちを探す
銘柄一覧 ; 明治製菓
エーザイ
ビー・エム・エル
総合メディカル
ハーバー研究所
オムロン
リコー
ユニ・チャーム
損害保険ジャパン
ニチイ学館
(10銘柄に関する詳細は別表にまとめました)

プロローグ

2003年、ロック好きの僕たちを一番興奮させてくれたのは、ビートルズの14枚目のオリジナルアルバム「レット・イット・ビー... ネイキッド」のリリースでした。30数年前のアルバム「レット・イット・ビー」は、ストリングスのオーバーダビングがポールを激しく怒らせたように、プロデューサーの手で編集され過ぎてしまった作品でした。「ネイキッド」は、ライブらしい新鮮な音に包丁を入れただけの「刺し身」の形でリリースされたもので、リンゴのすきのないビートに乗ったビートルズらしい音たちに、親と心をひとつにして久しぶりに酔いしれてしまいました。

「ネイキッド」でなければ、本当のよさは分からない
こうして「ネイキッド」に夢中になっていた頃、僕たちは一方で、ある「スキャンダル」

にとてものがっかりさせられていました。「武富士会長による盗聴事件」です。会長は、会社における自分自身の地位を守ることや個人の利益だけを考えて、盗聴や一部の気に入らない社員に対する「いやがらせ」を繰り返していました。学校の行き帰りに、明るい笑顔であいさつをしながらポケットティッシュを配る武富士の女子社員の人たちをよく見かけます。とても感じのいいさわやかな人たちで、きっとすばらしい会社に違いないとずっと感じていました。そして、今年のストックリーグのポートフォリオにもぜひ加えたい、と楽しみにさえしていました。ところが、実際には、そのすがすがしいイメージとは全く逆の恐ろしい出来事が、僕たちの目に触れない所で、ひそかに行われつづけていたのです。

こうした会社は、武富士だけではありません。雪印やダスキン（ミスタードーナツ）や日本ハムなど「食」に関する会社の多くも、偽装表示をするなど、消費者が思っていたような信頼できる「いい企業」ではありませんでした。

今年のテーマは、「ネイキッドな、本当にいい企業たちを探す」

昨年、僕たちは、「株を買う」という行為は、株価の上昇による利益だけを目的にした、あぶく銭目当ての「ばくち」ではなくて、株主になることで「企業を支える」立場になり、そうした立場を通じて社会に貢献することができるのだ、ということを学びました。しかし、もし、「経営者個人や会社が生き残るためには、消費者や社会を少くらい裏切っても仕方ない」という考えの企業の株を買って株主になり、こうした「よくない」企業を、結果として支援するとしたら、それ自体が反社会的な行為ということにもなりかねません。

そこで、株主になっても心配のない「本当に」いい企業とはそもそもどんな企業なのか、ということを皆で話し合ってみることにしました。

偽装表示の話題から最初に僕たちが気づいたのは、「本当に」いい企業は、「消費者思い」でなければならないということでした。例えば、自分の会社の商品に、許可されていない食品添加物が入っていることに発売後に気づいたら、それをすぐに公表した上で安全性に関する情報を消費者に十分に提供し、関連する商品すべてを回収する勇気を持っているような会社でなければならないと思うのです。

武富士の会長の盗聴や社員に対するいやがらせをテーマに話し合った時には、「社員思い」の企業であることも、いい会社の欠かせない条件のひとつのはずだということに気づきました。従業員が生きがいを持って明るく仕事に打ち込める環境が不可欠です。

また、僕たちの暮らす北九州市は、昔は、「公害の街」として有名でした。かけがえのない健康やたいせつな自然環境を破壊し、これらを犠牲にすることを当たり前のよう考えて発展する会社を、とてもいい企業と呼ぶことはできません。それを考えると、「環境思い」であるということも、「本当に」いい企業であるためのとてもたいせつな条件のひとつではないかと考えました。

そこで、「消費者」「雇用」「環境」という三つの言葉に「投資」という言葉を加えてインターネットで検索をしてみました。そして出会うことができたのが「C S R（企業の社会

的責任)」(以下C S R)というキーワードです。企業は、利益をすべてに優先させることを許される組織ではなく、社会的責任を果たすという大きな役割も持っていて、社会のために貢献する仕事をしている企業に多くの人が投資し支援することで、よりよい社会を作ることができ、さらに結果として企業も投資家も大きな利益を得ることができる、という考え方です。三菱総研のC S Rのサイトでは、僕たちが気づいた三つの項目に「地域思い(市民社会に貢献する)」という条件を加えて、4つの項目を企業が社会に対して果たすべき責任として提案しています。

僕たちは、このC S Rこそ「本当に」いい企業を探すためのキーワードではないかと考えました。そして、C S Rを評価する4つの項目が満たされているかどうかのチェックをしながら、ポートフォリオ決定の作業を進めて行くことにしました。

ポートフォリオの決定に向けて一投資することのもうひとつの意味も考える

昨年、僕たちは、初めて日経ストックリーグに参加しました。ポートフォリオ決定までのプロセスの視点を高く評価していただき、中学校部門の最優秀賞をいただくことができました。しかし、昨年のレポートを繰り返し読み直して見ると、十分ではない点があることに気づきました。今回は、そうした昨年のレポートの不十分だった点にも気を配りながら、「自己責任」を意識してポートフォリオづくりに取り組むことにしました。一番に気づいたのは、「選んだ企業の株価が高過ぎはしないか」というチェックをしていなかった点です。こうした株価の評価には、これまでも多くの指標が提案されていますが、最も一般的に広く用いられていて僕たち中学生にも理解しやすい「P E R」を中心に検討してみることにしました。また、小さな新しい企業については、成長性も考えに入れた「P E G」を加えて検討してみることにしました。

次に気になったのは、企業に関する情報の多くを紙に書かれた資料やインターネットのホームページだけに頼っていた点です。企業に関する情報の多くは、プロフェッショナルな人たちの手でていねいに厚化粧されていて、「ネイキッド」からはほど遠い例もある、ということ武富士の事件や食品会社の偽装表示などを通じて思い知ったからです。

「現場」を見て、「ネイキッド」な企業の姿に直接触れる

僕たちは、「ネイキッド」な企業の姿に直接触れるためには、企業が提供する商品やサービスが実際に使われている「現場」を見る必要があると考えました。昨年と同じ、メンバーの父親(以下院長)の経営する医院(以下医院)が、僕たちにとって、もっとも遠慮なく行動できる、企業との接点となる「現場」だと考えて、ここで使われているさまざまな医療関係の商品やサービスを調べてみることにしました。

1. 肥満外来とアロマセラピー 医院には、生活習慣病の治療のための肥満外来があります。肥満の大きな原因のひとつはストレスによる過食ということで、ストレスのコントロールの目的でアロマセラピーを補助的に使っているということでした。アロマセラピーに

使う精油は多くの業者が利益を優先しているため、医療に使える品質のいいものは少ないようです。そこで、利益にばかり執着せず安全を一番に考えて、精油の成分をひとつひとつ分析して報告してくれる会社を見つけて、その精油を使っているという話でした。そのハイパープランツという会社の川人紫社長に直接会って話をする機会がありました。社長は、もと有機農業を指導する組織にいた人で、その経験を生かして環境にやさしい企業づくりを社員といっしょになって目指している姿に、僕たちは心を打たれました。また、いろんな研究やアロマセラピーの普及のための活動に直接関わったり支援したりしている他、消費者からの苦情や相談にも積極的に対応していることが分かりました。CSRの4つの条件をすべてクリアしていると判断して、まず一番にこのハイパープランツを「買い」の候補としました。ところが、この会社はまだ「上場」していないことが分かりました。（本当のことを言うと、上場していないと、一般の人が株を買えないということをこの時初めて知りました。）上場すれば、資金をもっと簡単に調達できるのに、と残念に思いました。しかし、小さな新しい企業が上場する場合、いくつかの危険性もあることを社長の話から知りました。それを十分に検討して、可能なら、できるだけ早く東証マザーズに上場したい、ということでした。

2. 社会活動への参加と支援 医院では、地域のドクターと協力して「患者塾」という活動をしています。患者さんと医師のコミュニケーションをよくしようという試みです。ハーバー研究所（化粧品と健康食品のメーカー）は、この活動を最初の頃からサポートして来ました。サポートと言っても、ただ寄付をしてサポートをするというのではなくて、お客さまの病気に関する悩みなどを社員が積極的に聞いて、医師とのかけ橋になって行こう、という関わり方です。これは、単なるメセナ活動ではなくてCSRの本来の意味での社会貢献と考えました。チームリーダーは、数年前に苫小牧の工場を見学し、社長の小柳さんと話をしたことがあります。工場は、お花畑のような所にあり、工場の内部も「広義の」環境に配慮したすばらしい空間でした。保育所も完備しているのですが、「こどもたちも親も家に帰りたがらないくらい気持ちのいい所です。」という社員の言葉にこの会社のすべてが集約されている、と思いました。ハーバー研究所の株も、ハイパープランツと同様に未公開だったのですが、昨年6月にジャスダック（店頭）に上場されました。そこで、このハーバー研究所を最初の「買い」の候補にすることにしました。

そのほかの企業についても、医院との接点に注目しながら、企業と「ネイキッド」に触れることで「買い」の候補選びを進めました。

3. 夜間診療に協力する 医院が所属している医師会では、当番制で夜間診療をしています。しかし、夜間診療をするには、近くの調剤薬局を開けてもらう必要があります。夜間診療の時に来る患者さんは、この地区では、数人から多くて10人くらいですから、薬剤師に払う時間外の手当分の収入にもなりません。昨年ポートフォリオに組み込んだ総合メディカルは、薬局経営もしており、この地区では、社員が薬剤師会の役員をするなど地域の社会活動に積極的に関わっています。そこで、総合メディカルの社員で地元の薬剤師会

の副会長の坂井さんに会って話を聞いてみました。「確かに夜間診療で薬局を開ければ赤字です。しかし、広義の環境に配慮した経営が最初はコスト増につながって経営を圧迫するのと同じで、長い目で見れば経営には必ずプラスになると考えています。」ということでした。坂井さんからは、C S Rの4つの項目に関しても、詳しく話を聞くことができました。

「経営の判断に迷った時は、エンドユーザーである患者さんの為になるかどうかを考えれば、自然に結論が出ます。」という言葉にもっとも心を打たれました。

4. 医療事務の委託 医院では、医療事務の一部をニチイ学館に委託しています。医療事務を担当する人も営業担当者も礼儀正しく仕事もできて、院長はたいへん満足している、ということでしたが、一度だけ書類をなくすというミスがあったのだそうです。その時、支店長が改善計画書を持って来て謝り、このミスのことが本社の部長まで報告されていることなどをかくさずに説明してくれたそうです。「過ちがあればそれを率直に謝罪し、そのミスを2度とくり返さないシステムづくりをすることが大切。また、ミスに関する情報をかくさずに開示することも必要。それは医療の世界でも同じで、ニチイ学館はその見本と言える。」と院長は言っていました。また、支店長にC S Rの4項目について質問したところ、本社の担当者から、すぐに文書で返事をもらうことができました。

5. 臨床検査の委託と電子カルテ 血液などの検査は、医院では多くをビーエムエルに委託しています。院長の話によれば、「担当者が検査結果に異常があればいねいに報告してくれるので、見落としがちな悪い病気も早く見つかることが多い。」ということでした。また、ビーエムエルは、電子カルテの開発にも力を入れています。東京の丸ビルで展示会があった時に見学に行き、開発担当の役員の方から説明をしてもらいました。「今はペイしないけれど、ペーパーレスのカルテは、環境のためにも開発して行く必要がある。目の前の利益よりも将来を見据えて、開発を続けたい。」ということでした。ビーエムエルもC S Rの4項目の質問について、本社から文書で返事をもらうことができました。

6. 増える医療廃棄物 医院でのゴミ処理がたいへん、と聞いて医療廃棄物用の箱を見せてもらいました。ゴミ処理だけでかなりの金額になるということでした。この中に紙おむつがかなりのスペースを占めて入っているのに驚きました。メンバーのひとりが「おむつの再利用ができたらいいのにね。」と言うので皆で笑いました。しかし、ひょっとしたらという思いで、いくつかのおむつメーカーに電話をして聞いたところ、ユニチャームが肥料として再資源化を始めていることを知りました。また、環境問題を中心にC S Rに積極的に取り組んでいる会社であることも知ることもできました。

7. その他 エーザイはMR（医薬品情報提供者）と、損害保険ジャパンは代理店担当者、リコーはレーザープリンターのメンテナンス担当者と会って話をする機会がありました。オムロンについては僕たちは直接会うことができませんでしたが、オムロンライフサイエンス研究所の人たちやPM（プロダクトマネージャー）の話を院長から間接的に聞くことができました。明治製菓も本社の健康食品の開発担当者と福岡支店長の話を院長から聞かせてもらいました。

候補の銘柄が「お買い得」かどうかのチェック

PERは、高成長なら40、低成長なら15が上限という考え方（岡本佳久氏・富士投信投資顧問）で検討しました。10銘柄とも、総合的に判断して購入に大きな問題はなさそうでした。ジャスダック（店頭）に新規上場のハーバー研究所のPERも12.4、PEGは0.23（基準値1.5）で問題のない値でした。

今回のストックリーグで学んだこと、そしてこれからー

1. 今回は、最初に「買い」の候補に上げた企業の株式が「未公開」であったことから、「上場する」ということの意味も学ぶことができました。「上場」によって資金を調達しやすくなり多くの人々からの「支援」を得やすくなりますが、とくに東証マザーズやジャスダックなどの小さな市場に公開する場合、さまざまなリスクを伴うことも知りました。
2. 昨年の反省から今年は、ストックリーグのサイトに詳しく説明してある「価格変動リスク」にも気を配ることに心がけました。とくに衆議院選挙の時期と重なったため、期限ギリギリの11月末まで待って購入しました。こうした過程を通じて価格変動リスクのうちの「市場リスク」の意味を学ぶことができました。また、PERやPEGをチェックして「お買い得」の株かどうかを判断することで、「個別リスク」の意味も学ぶことができました。これらのリスクを理解した上で「自己責任」で株を購入する意味も知りました。
3. 購入後間もなく、総合メディカルが突然大きく値を下げました。2／3近い株価の下落で、この銘柄だけで500万円分すべてを購入していたら、150万円くらいの損をしていたことになります。「ポートフォリオを組むことでリスクを分散する」ことの意味を実感として経験することができました。今回株を購入した企業は、すべて医院に関連したもので、10銘柄のほとんどが何らかの意味で「医療関連」ということになります。メンバーからは「これじゃ本当のリスクの分散にはならないんじゃないの？」という声も出ましたが、10銘柄の株価の動きを注意深く観察してみると、上がり下がり傾向がそれぞれに微妙に違って、リスクの分散はある程度はできたのではないかと思います。しかし、それぞれの銘柄は、輸出関連や輸入関連などと簡単に分類できるものではなくて複雑にいろんな条件が重なり合っています。これからもさらに株価の動き方をていねいに比較しながら観察して、「リスクを分散する」ことの意味を学んで行きたいと思いました。
4. 「株を買うことで企業を支援することにはなるけれど、よくない企業を支援する訳に行かない」というのが今回の大きなテーマのひとつでした。そのために、僕たちは、「ネイキッド」な企業の姿、すなわちホームページなどの上に描かれただけの企業の姿ではなく、生の企業の実態そのものに触れることを心がけました。10銘柄のどの企業にも、心に感じる「いい企業」としての魅力がありました。しかし、これらの企業とは対照的に、手紙を書いて商品についての問い合わせをしても返事が来なかったり、電話で聞いても対応の悪い企業を経験することもできました。どれも、これまでは「いい」と思い込んでいた企業

ばかりです。そのうちのひとつの会社は、あとで不祥事を起こしたことが報道されました。株を買う時には、十分に資料を調べた上で、それらをそのまま鵜呑みにはせずに「ネイキッドな」姿に直接触れることが絶対に必要だということを学ぶことができました。

5. 今回の投資は、短期ではよい結果を得ることはできませんでした。CSRを掲げる企業に投資するSRI（社会的責任投資）は、長期の保有が前提になるのだと思います。僕たちは、高校を卒業するまでの3年間、この10の銘柄を「保有し続けよう」と話し合いました。これらの企業がCSRの4つの項目を実践し続けることで成長し、社会に貢献して人々を幸せにし、それを通じて業績を上げて株価も上がり、僕たちも大きな利益を得ることを夢見たいと思います。また、「その利益で、親に負担をかけずに」大学に進学することができれば（無論バーチャルですがー）こんないいことはありません。その実現のためにも、「株主として」これらの企業を支援しながら、厳しい目で見守り続けて、必要なら「批判」や「提案」をして行きたいと考えています。そして、CSRを実践する「本当にいい」企業たちの株に世界中から「買い」が入り、日本が再び元気を取り戻して世界をリードする国になることを期待したいと思います。その元気になった日本で、社会に船出した僕たちが思う存分活躍できれば、心から「幸せ」と感じることはできるはずです。

本文のみ 40字×200行（8000字）

別表 10 銘柄についての検討

	明治製菓	エーザイ	ビーエムエル	総合メディカル	ハーバー研究所
株価 (11/28)	409	2775	1419	2985	2590
P E R	37.5	16.4	19.0	21.4	12.4
P E G	—	—	—	—	0.23

(C S Rに関する僕たちの評価)

消費者対応	◎	◎	◎	◎	◎
雇用	○	◎	○	◎	◎
環境	◎	◎	◎	○	◎
社会貢献	○	○	○	◎	◎

	オムロン	リコー	ユニチャーム	損保ジャパン	ニチイ学館
株価 (11/28)	2105	1998	5230	813	5650
P E R	26.3	17.5	24.9	34.9	20.8

(05.3. 予想 1 株益で計算)

PEG	—	—	—	—	—
(CSRに関する僕たちの評価)					
消費者対応	◎	◎	◎	◎	◎
雇用	○	○	○	◎	◎
環境	◎	◎	◎	◎	○
社会貢献	○	○	○	◎	◎

評価についての符号； ◎ たいへんよく対応している
 ○ よく対応している
 (△ ほぼ対応している)
 (× 対応していない)